

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

6年

12月

9日

法人名	一般社団法人かないと	事業所名	0Zデイからつ	実施事業	児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護
法人（事業所）理念	障がいや病気のあるこどももおとなも みんなと同様の機会をもてるようにする。				
支援方針	どのような疾患や多くの医療ケアが必要であっても、安心安全に楽しく過ごすことが出来、ご家族も自分のやりたいこと、人生に目を向けられる時間ができるよう、支援を提供します。				
営業日	月曜日～金曜日（事業所が指定する土曜日、日曜日に営業する場合も有）	営業時間	9:00～18:00	送迎実施の有無	有
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	お一人お一人の身体状況や疾患による影響を把握し、適切な医療ケア、排痰、ストレッチやポジショニングを行い、体調や呼吸状態、身体状態の維持、向上を図ります。体調やサチュレーションの変化等に対しては、すぐに確認、対応を行います。			
	運動・感覚	訓練士による訓練計画を立案し、粗大運動、手、遊び、食事などの発達を促します。固有感覚、前庭感覚など感覚刺激を用いた活動も行い、好まれる感覚の探索や苦手な感覚も楽しく経験出来るよう支援します。			
	認知・行動	活動の流れや使用する音楽を統一したり、優位な刺激（視覚、聴覚）を活用し、ご利用者様が理解し楽しめるよう支援します。目で見て認知した上で手を動かし操作するといった、目と手の協調動作や、物や操作法の仕組み、因果関係への気づきなども促します。			
	言語コミュニケーション	身体の小さな動き（目、口、筋肉）を読み取り、ご利用者様の選択、意思表示を支援します。（意思決定支援）繰り返すことで、表出方法の発達や変化、頻度の増加を狙います。視線入力やスイッチといったコミュニケーション機器も使用し、お一人お一人の可能性も探ります。他者との様々なコミュニケーションを活動の中で取り入れていきます。			
	人間関係社会性	初めてご家族以外の人たちとの集団生活を経験するなかで、他者への安心感を持つことが出来るよう、見通しがつきやすいような環境設定、声掛けを行い、楽しく他者と過ごせるよう支援します。まずは大人との安心できる関わりから、対こどもの関わりへと支援し、遊びや活動の共有を通して、生活の場とは違う人間関係の構築を支援します。			
家族支援	ご家族様からの御相談に対応します。すぐにお答えできるよう、LINEなどでも対応します。兄弟さん同士の関わりがもてるよう、行事などで機会を提供します。	移行支援	生活介護を運営することで、児童期から成人まで切れ目なく支援を提供します。また、保育園や学校との会議にも参加し、どの場所であっても統一した支援が受けられるよう図ります。		
地域支援・地域連携	地域のイベント参加や学校、幼稚園との交流を行い、どのような事業所なのか、どういった方が利用されているのかということを知って頂く機会を設けていきます。	職員の質の向上	関連事業所間で行われる職種別会議に参加し、各職種の研鑽を図ります。また事業所内での研修や外部研修へ参加することで、より知識、技術を深めていきます。		
主な行事等	毎月のクッキング、屋外活動（お出かけ）、秋祭り、運動会、他園との交流、初詣、きらきら発表会	安全対策	策定した安全計画のもの、様々な災害を想定した避難を実施します。また、散歩など屋外への外出時に、避難経路や水害などの被災しやすい場所の確認等行います。		